

報道関係各位

**【初実施！】農業と観光との連携による農作業受委託モデル事業
「アグリキャンプ」の実施について**

このことについて、学生や企業のスポーツ団体等が合宿の合間に農作業受委託に取り組む「アグリキャンプ」を下記のとおり初めて実施しますので、取材くださるようお願いいたします。

本事業は、農業の人手不足解消と農を起点とした交流人口の拡大等を目的として、本年3月に山形県及び全国農業協同組合連合会山形県本部（JA全農山形）、株式会社JTBの三者で締結した連携協定に基づき実施している農作業受委託モデル事業（別添資料参照）の一環で実施するものです。

記

- 1 日 時 令和5年9月10日（日）10:00～12:00
- 2 場 所 村山市田沢地区の園地（集合場所は、別紙の案内をご覧ください）
- 3 内 容 ストック（花き）管理作業（間引き作業）
- 4 参加予定者 秋田県立大学 男子バレー部員及び関係者 5名
※他の部員等9名が他の園地で作業を行い、合計14名が参加します。
※部活動の練習前に行います。

【お問い合わせ先】

○事業の全体概要について 農林水産部農業経営・所得向上推進課 課長補佐（農業経営・金融担当）後藤 TEL：023-630-2286 報道監 農林水産部次長 齋藤 邦仁	○アグリキャンプの詳細について JA全農山形 営農企画部 営農支援課 佐藤 大輔 TEL：023-634-8134 株式会社JTB 広報室 TEL：03-5796-5833
---	--

○ 「アグリキャンプ」取材の集合場所について (ご案内)

集合場所：土田様の園地（山形県村山市田沢地区）

当日は下記地図の園地（赤旗）へ直接お越しください。

当日の連絡先：080-3330-8850（全農山形 松浦）



※縮小地図(赤旗:作業園地)



※拡大地図(赤旗:作業園地)



※園地写真

- ① 山形市内から国道13号を北進（新庄方面へ）
- ② 村山市内「タモ山」交差点（上の縮小地図A）を左折し西進
- ③ 村山市内「富並」交差点（上の縮小地図B）より右折し県道381号線を北進
- ④ 道沿い右手に見える、ビニールハウス3棟並んでいる場所が園地です

以上

農業と観光との連携による農業人材創出に関する連携協定の概要

○ 本県では、令和5年度から、農業労働力不足の解消と、農を起点とした交流人口の拡大等を目的とした「元気な農業人材確保プロジェクト」の展開を予定しており、山形県、JA全農山形及びJTBの相互連携と協働による三者協定を締結し、プロジェクトの推進体制を強化する。

三者連携協定の枠組み



- 締結日 令和5年3月22日（水）
- 協定期間 令和9年3月31日まで（延長の可能性あり）

協定の趣旨・目的

農業人材の確保をはじめとする本県農業の課題の解決及び農を起点とした関係人口の創出のための連携強化を図るもの。

主な協定項目

- ・首都圏等からの農業に関心のある企業、人材の**本県への呼び込み**
- ・農作業委託のニーズ把握と多様な人材との農作業委託の調整
- ・首都圏の人材等と**県内の農業・他産業との交流促進**
- ・県産農産物等の地域資源やイベント情報の広報誌、SNS等による周知
- ・農作業体験や農業者等と交流する旅行商品造成

農を起点として人材を呼び込む新たなツール

アグリワークショップ

企業・社員 ～ 社員のワークショップの合間に農作業に従事～

- 農業を通じた地域貢献によるCSRの実現
- 現場感覚や新たな視点を持つ人材の育成
- 従業員の心身のリフレッシュ、生産性の向上、健康経営の実現

アグリキャンプ

部活・企業のスポーツチーム ～ 合宿のついでに農作業に従事～

- 合宿を通じたチームビルディング
- 合宿費用、活動費の確保
- 合宿先でしかできない経験

アグリツアー

観光客 ～ 旅行メニューとして農作業を体験～

- 山形の魅力を感じられる旅行
- 農業、農村暮らし体験への憧れ
- より充実した旅行、満足感

メリット

- 空き時間の農業従事者で活動費の獲得
- 農作業体験を通してチームワーク醸成


メリット

- 旅行+ついでに農業従事者で賃金を獲得
- 旅先でしか得られない体験や交流

メリット

- 山形の魅力を感じられる旅行
- 農業、農村暮らし体験への憧れ
- より充実した旅行、満足感

農作業委託モデルの構築



農作業委託モデルの構築

- ・ 農作業依頼
- ・ 作業実施
- ・ 人材確保
- ・ 労務管理

農作業委託モデルの構築

- ・ 県内農家の作業委託ニーズ取りまとめ
- ・ 農家との作業内容調整
- ・ 首都圏等から多様な働き手を呼び込み
- ・ 労働者を雇用、作業チームを編成し農作業を受託

農作業委託の参加延べ人数

(R4実績) 2,141人日 → (R5) 3,000人日 → (R6) 5,000人日 → (R7) 7,000人日 → (R8) 10,000人日

主な役割

- ・ 県内農家の作業委託ニーズ取りまとめ
- ・ 農家との作業内容調整
- ・ 首都圏等から多様な働き手を呼び込み
- ・ 労働者を雇用、作業チームを編成し農作業を受託

期待される効果

- 多様な人材の活用による、**自走できる農作業委託モデルの実証・構築**
- 農を起点とした**関係人口の増加**
 - 企業の農業分野への新規参入
 - 関係人口の増加により
 - 若者などの新規就農の増加

波及効果

- ・ 異業種交流による企業活動の活性化、ビジネスチャンス創出
- ・ 関係人口やリピーター観光客の増加による山形ファンの形成
- ・ 交流人口の拡大による農村集落の活性化

連携協定の概要

協定締結による具体的な取組み